

# 世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、  
わたしたちは、提供しつづけます。

## Business Report

第82期 報告書 2017.4.1—2018.3.31

Pigment

日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

## 株主のみなさまへ

### ごあいさつ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社第82期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。

当社グループでは、2016年3月に中期経営計画「Challenge 2020」－ボードレス化への再編と新生へのステップ－を公表いたしました。2016年から2020年の5年間で「次世代の柱を確立し、持続的成長への土台を固める5年」としており、3つの基本方針「①次世代に向けた成長戦略への舵取り」「②経営基盤の強化」「③ブランド価値向上」を掲げ推進しております。

当社グループは、中期経営計画「Challenge 2020」の3年目として、経営基盤を充実させていく所存です。また、液体分散体の今後の需要増に対応するため、埼玉県児玉郡に2019年春の稼働開始に向け新工場建設に着手しております。中期経営計画の推進、新工場の建設など、引き続き企業価値向上を図るべく、取り組んで参る所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



取締役社長 加藤 龍巳

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

### 経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。

# 事業の概況



## 当期の業績

### 【日本】

国内部門別の概況として

樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に受注が高水準で推移しております。急激な受注増に生産対応が追いつくまでには至らず、一部地域で生産効率の悪化を招く局面もあったことから、部門営業利益では想定を若干上回る結果に留まりました。

樹脂用着色剤部門は、自動車・フィルム・樹脂メーカー向けが堅調に推移しましたが、他分野の落ち込みをカバーするまでには至らず、部門営業利益は想定までには至りませんでした。

最後に加工カラー部門は、化成品で一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移し、概ね想定どおりとなりましたが、液体分散体では海外関連の一時的な在庫調整等の影響を受けたことから当初想定を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は263億2千7百万円(前期比5.9%増)となりましたが、営業利益は経費の増加もあって6億円(前期比3.9%減)となりました。

### 【東南アジア】海外子会社3社:シンガポール、マレーシア(2拠点)、インドネシア(2工場)

東南アジアは、インドネシアでの自動車産業向けにおいて年初来の在庫調整の影響が残ったものの、その他地域での家電産業向けの受注が好調であり、全体としては概ね堅調に推移しました。当連結会計年度の売上高は191億3千6百万円(前期比12.4%増)となりましたが、為替変動や樹脂価格上昇の影響もあり、営業利益は3億7千9百万円(前期比19.1%減)となりました。

### 【その他】

その他は、中国での日系自動車関連の受注が当初の想定を下回り、またメンテナンス費用の計上もあったことから、当連結会計年度の売上高は7億3千3百万円(前期比0.02%減)、営業損失は4千1百万円(前期営業損失4千7百万円)となりました。

### 【全体】

当連結会計年度の当社グループの売上高は461億9千7百万円(前期比8.4%増)、経常利益は10億9千5百万円(前期比0.6%増)となり、関連会社の増資による持分変動損失1億2千9百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は6億7千7百万円(前期比2.0%減)となりました。



## 今後の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、堅調な企業業績を背景として、雇用・所得環境が引き続き緩やかに好転し、全体として回復基調が続くことが期待されますが、為替相場や原油価格の変動、地政学的リスクによる先行き不透明感も懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「Challenge 2020」の3年目として自社製品の拡販・採算性の改善などに引き続き注力し、当社グループの平成31年3月期の業績は次のとおり予想しております。



## 次期の連結業績予想 (2018年5月11日公表)

売上高	45,800百万円
営業利益	1,080百万円
経常利益	1,100百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	700百万円
期末配当金(予想)	80円

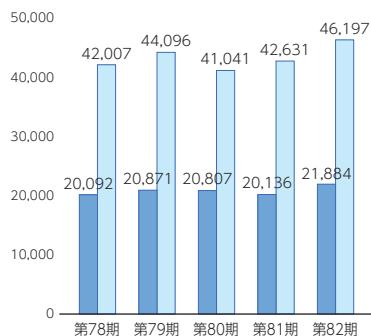
# 連結財務諸表

## ●財務ハイライト

第82期は国内外での樹脂コンパウンド需要が堅調に推移し増収となりましたが、国内においては経費の増加、海外においては樹脂価格上昇などの影響があり収益は伸び悩みました。

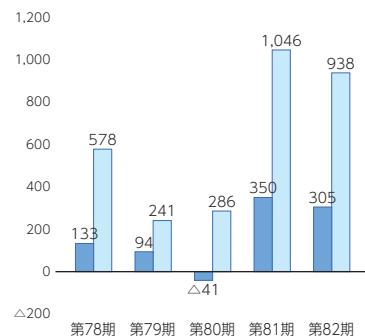
### 売上高(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



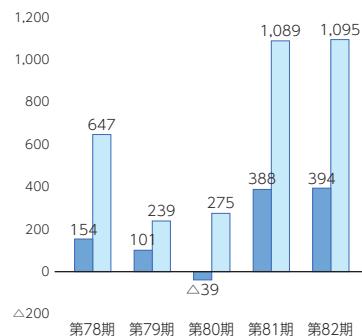
### 営業利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



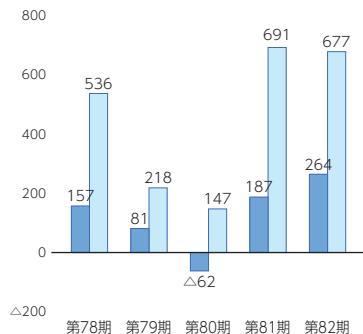
### 経常利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



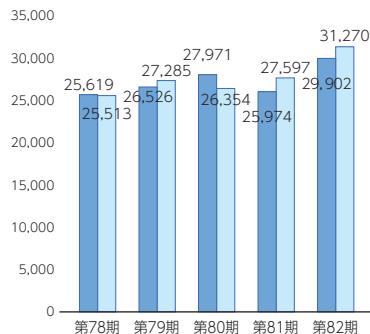
### 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



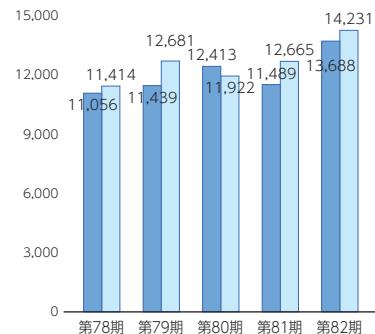
### 総資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



### 純資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



## ●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度末 2018年3月31日現在	前連結会計年度末 2017年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>1</b> 流動資産	15,478	14,079
<b>2</b> 固定資産	15,792	13,518
有形固定資産	9,232	8,281
無形固定資産	212	63
投資その他の資産	6,346	5,172
資産合計	31,270	27,597
<b>負債の部</b>		
<b>3</b> 流動負債	13,090	11,248
<b>4</b> 固定負債	3,947	3,683
負債合計	17,038	14,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,788	11,251
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,033	1,047
利益剰余金	9,290	8,738
自己株式	△17	△16
その他の包括利益累計額	1,498	489
非支配株主持分	945	923
<b>5</b> 純資産合計	14,231	12,665
負債純資産合計	31,270	27,597

### Point.1 流動資産について

流動資産は154億7千8百万円と前期末の140億7千9百万円に比べ13億9千9百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が9億1百万円、製品が2億7千5百万円、原材料及び貯蔵品が2億8百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

### Point.2 固定資産について

固定資産は157億9千2百万円と前期末の135億1千8百万円に比べ22億7千3百万円の増加となりました。この主な要因は、機械装置及び運搬具が4億4千7百万円、土地が2億6千6百万円、建設仮勘定が1億8千6百万円、無形固定資産が1億4千8百万円、投資有価証券が10億2千9百万円、退職給付に係る資産が1億2千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

### Point.3 流動負債について

流動負債は130億9千万円と前期末の112億4千8百万円に比べ18億4千2百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が12億5千万円、及びその他で8億1千万円増加し、短期借入金が1億6千2百万円減少したことなどによるものです。

### Point.4 固定負債について

固定負債は39億4千7百万円と前期末の36億8千3百万円に比べ2億6千4百万円の増加となりました。この主な要因は繰延税金負債が2億7千3百万円の増加によるものです。

### Point.5 純資産について

純資産合計は142億3千1百万円と前期末の126億6千5百万円に比べ15億6千6百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が5億5千2百万円、その他有価証券評価差額金が6億1千8百万円、為替換算調整勘定が2億8千9百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

# 連結財務諸表

## ●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	前連結会計年度 自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日
売上高	46,197	42,631
売上原価	42,192	38,682
売上総利益	4,005	3,948
販売費及び一般管理費	3,067	2,902
<b>6 営業利益</b>	<b>938</b>	<b>1,046</b>
営業外収益	291	235
営業外費用	134	192
経常利益	1,095	1,089
特別利益	75	77
特別損失	131	98
税金等調整前当期純利益	1,039	1,067
法人税、住民税及び事業税	312	300
法人税等調整額	△0	18
非支配株主に帰属する当期純利益	50	57
親会社株主に帰属する当期純利益	677	691

### Point.6 営業利益について

営業利益は、国内においては経費の増加、海外においては樹脂価格上昇などの影響がありました。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	前連結会計年度 自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日
<b>7 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>1,375</b>	<b>1,096</b>
<b>8 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,075</b>	<b>△757</b>
<b>9 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△320</b>	<b>△319</b>
現金及び現金同等物に 係る換算差額	28	△52
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	7	△32
現金及び現金同等物の 期首残高	1,713	1,746
現金及び現金同等物の 期末残高	1,721	1,713

### Point.7 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は前期と比べ2億7千8百万円増加し13億7千5百万円となりました。これは、仕入債務の増減額の増加などによるものです。

### Point.8 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前期と比べ3億1千7百万円増加し、10億7千5百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億7千9百万円増加したことなどによるものです。

### Point.9 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は3億2千万円となりました。前期は3億1千9百万円の減少でした。

## 会社の概要 (2018年3月31日現在)

### ●概要

- **会社名** 日本ピグメント株式会社  
(Nippon Pigment Company Limited)
- **本社所在地** 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
- **代表者** 取締役社長 加藤 龍巳
- **創業** 1925年(大正14年)
- **事業内容** 当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
- **資本金** 14億8,115万円
- **株式** 東京証券取引所市場第二部上場
- **主要な事業目的**
  1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売
  2. 各種樹脂の加工および販売(樹脂コンパウンド)
  3. 各種着色剤の製造および販売
  4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

### ●役員ならびに執行役員 (2018年6月28日現在)

取締役社長	社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
専務取締役	専務執行役員	井手 譲司	経営管理本部・総務部・経理部・海外事業管理、 法務コンプライアンス統括室・品質保証室担当
取締役	執行役員	平岡 正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井 信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	執行役員	宮本 康弘	営業本部長
取締役	常勤監査等委員	三輪 幸一	
社外取締役	監査等委員	村松 伸一	
社外取締役	監査等委員	鈴木 洋子	
上席執行役員		武田 聡	特命担当
執行役員		古賀 義隆	総務部長兼法務コンプライアンス統括室長
執行役員		田中 淳	生産本部副本部長
執行役員		光枝 孝宗	営業本部副本部長兼樹脂コンパウンド統括部長
執行役員		田代 喜一	営業本部副本部長
執行役員		至田 順彦	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員		渡辺 伸司	開発本部長
執行役員		奥本 隆巳	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長

### ●国内拠点・海外拠点

- **本社**
  - ・東京(千代田区)
- **国内生産拠点**
  - ・埼玉川本工場(埼玉県深谷市)
  - ・大阪工場(大阪府柏原市)
  - ・東京ピグメント(株)(埼玉県熊谷市)
  - ・ニッピ化成(株)(埼玉県熊谷市)
  - ・名古屋ピグメント(株)(愛知県犬山市)
  - ・大阪ピグメント(株)(奈良県大和郡山市)
- **営業拠点**
  - ・東京(千代田区)
  - ・大阪(大阪市中央区)
  - ・名古屋(名古屋市中種区)
- **海外**
  - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
  - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)  
[Head Office and Shah Alam Plant]  
[Penang Plant]
  - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
  - ・天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
  - ・NPK Co.,Ltd. (韓国/持分法適用関連会社)
  - ・上海新素材特種聚合物有限公司(中国/持分法適用関連会社)

## 株式の概要 (2018年3月31日現在)

### ●株式の状況

●発行可能株式総数	3,000,000株
●発行済株式総数	1,575,899株
●自己株式数	5,812株
●株主数	1,491名

### ●大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
日本ピグメント取引先持株会	156千株	9.97%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	105	6.71
株式会社みずほ銀行	78	4.97
株式会社十六銀行	69	4.45
日本化薬株式会社	51	3.31
東京海上日動火災保険株式会社	49	3.14
株式会社資生堂	49	3.13
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
東レ株式会社	35	2.29
長瀬産業株式会社	32	2.08

# 株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 4119
- 単元株式数 100株  
※平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株への割合で株式併合を実施いたしました。同時に単元株式数も1,000株から100株へ変更いたしました。
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
(郵送先)  
〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料  
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。  
当社ホームページアドレス  
<https://www.pigment.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

## 【株式に関するお手続きについて】

### ○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

### ○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
手続用紙の ご請求方法	インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定(*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。



日本ピグメント株式会社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808

<https://www.pigment.co.jp/>



UD FONT

この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。